

## (10/15) 第39回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMCの設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、各種課題のより深い理解、新しい知見・情報取得と併せ、新規研究テーマ探索も考慮した特別シンポジウムを開催しております。

今回の特別シンポジウムは、電磁波が人体に及ぼす効果を有効に利用する癌治療機の開発にも携わっておられ、2021年度IEEE EMC-S Richard R. Stoddart Awardを受賞された小塚洋司先生による講演です。このときの課題に向き合われたことを例に、電磁波工学の根幹の解決法、新技術の理論的背景など、先生の苦勞なされた開拓分野のご講演です。奮ってご参加ください。

### 【10/15(金)開催】ギガビット研究会 第39回特別シンポジウム

#### 「～苦心した研究開発の話題から～電磁波照射による癌治療機開発に学ぶ考え方と技術の詳細」

**日時** 2021年10月15日(金) 13:30～15:00

**方式** Zoomによるオンライン開催

#### プログラム

13:30～13:35	開会挨拶
13:35～14:55 (質疑含む)	『～苦心した研究開発の話題から～ <b>電磁波照射による癌治療機開発に学ぶ考え方と技術の詳細</b> 東海大学 名誉教授/電気通信大学 客員教授 小塚 洋司 先生  いかなる学問分野も、研究や開発には苦心談が絶えない。ここでは、私学の独特の教育、研究環境の中で個人的に切り開いてきた研究の紹介や、この技術開発過程における苦心談という新たな視点からの講演を企画させていただくことにした。この一研究例とし東海大学創立者である松前重義総長から直接ご指導いただいた電磁波照射に基づく「癌治療機開発の研究」の話題を取り上げる。この研究課題を例にとり、電磁波工学の根幹となる問題の解決方法、新しい技術手段の詳細、中核となる理論的な根拠などについて具体的に紹介する。 本研究は、国内ではもっぱら「日本ハイパーサミア学会」、海外では「国際癌温熱治療学会 (ICHO)」、[IEEE MTT Soc.]などで発表してきたため、電子情報通信学会などでは副次的な扱いをしてきた研究課題であった。しかし、この研究からAI技術などに適合できる「新しい電気材料開発」などの道が拓かれた。こうした観点からも今回の講演テーマを設定している。
14:55～15:00	閉会挨拶

**参加費** 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は 28,600 円 (税込 31,460 円)

**お申込み** メールで、ギガビット研究会 [gigabit@sangaku.uec.ac.jp](mailto:gigabit@sangaku.uec.ac.jp) までご連絡ください。  
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

**お申込み締切** 2021年10月12日(火)

**<法人会員>**

1. 法人名(会社名) 2. 所属 3. 氏名
  4. Zoomの登録名
  5. メールアドレス
- 以上5点をご連絡ください。

**<特別会員および研究室所属学生>**

1. 氏名(学生の場合は、学生氏名と括弧書きの特別会員氏名)
  2. Zoomの登録名
  3. メールアドレス
- 以上3点をご連絡ください。

**<法人准会員>**

1. 法人名(会社名) 2. 所属 3. 氏名
4. Zoomの登録名
5. メールアドレス

以上5点をご連絡後、お手数ですが、参加申込書に必要事項を記入・捺印のうえご郵送(もしくはメール送信)をお願い致します。

**お問い合わせ先**

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会事務局

TEL : 042-443-5848 e-mail : [gigabit@sangaku.uec.ac.jp](mailto:gigabit@sangaku.uec.ac.jp)